

中国高校生友好交流大使 500 人訪日団第 1 陣
訪問日程 平成 27 年 11 月 1 日（日）～11 月 7 日（土）

1 プログラム概要

中国教育部が派遣した中国高校生友好交流大使 500 人訪日団第 1 陣計 99 名が、11 月 1 日から 11 月 7 日までの 6 泊 7 日の日程で来日しました。（団長：陳昌偉（チン・ショウイ）海南省教育庁 副巡視員）

本事業は 2015 年 5 月に二階俊博・自民党総務会長が率いた 3,000 人の「日中観光文化交流団」の訪中を契機として実施が決まり、本団は、第 1 陣から第 3 陣まで中国高校生 500 名を招聘する計画の第 1 陣として実施しました。

訪日団は、東京では安倍総理への表敬訪問、国会議員への報告会、中華人民共和国駐日本国大使館での昼食会という貴重な体験をしたほか、和歌山県、山梨県を訪問し、「クールジャパン」を含め、さまざまな分野における日本の魅力、強みを体感したほか、日本の高校生との交流、ホームステイ・ホームビジット、訪日記念植樹など幅広い活動を通じて、同世代や一般市民との友好交流と相互理解を深めました。

2 日程

11 月 1 日（日）

羽田空港より入国

11 月 2 日（月）

オリエンテーション、浅草見学、中国大使館主催昼食会、東京タワー見学、日本科学未来館見学、歓迎会

11 月 3 日（火）

第 1 グループ：和歌山県へ移動、紀三井寺見学、湯浅町重要伝統的建造物群保存地区見学、ホームステイ

第 2 グループ：山梨県へ移動、ホームビジット、富士吉田市国際親善委員会主催交流夕食会

11 月 4 日（水）

第 1 グループ：稲むらの火の館見学、和歌山県立日高高校訪問・交流、ホームステイ

第 2 グループ：富士吉田市内見学（北口本宮富士浅間神社、ふじさんミュージアム、忍野八海）、山梨県立吉田高校訪問・交流

11 月 5 日（木）

第 1 グループ：和歌山県内見学（道成寺、南方熊楠記念館、白良浜、三段壁、千畳敷、円月島）、和風温泉旅館での日本文化体験

第 2 グループ：富士五合目見学、山梨県立リニア見学センター見学、(株)桔梗屋工場見学、和風温泉旅館での日本文化体験

11 月 6 日（金）

商業施設視察、皇居・二重橋見学（第 2 グループのみ）、国会議員への報告会、安倍総理表敬訪問、歓送報告会

11 月 7 日（土）

羽田国際空港より帰国

3 写真

	
11月2日 浅草・仲見世見学（東京都）	11月2日 中国大使館主催昼食会（東京都）
11月2日 参观浅草・仲见世（东京都）	11月2日 中国大使馆主办午餐会（东京都）
	
11月2日 東京タワー見学（東京都）	11月2日 日本科学未来館見学（東京都）
11月2日 参观东京塔（东京都）	11月2日 参观日本科学未来馆（东京都）
	
11月2日 歓迎会 濱地雅一外務大臣 政務官の挨拶（東京都）	11月2日 歓迎会（東京都）
11月2日 在欢迎会上滨地雅一外务大臣 政务官致辞（东京都）	11月2日 欢迎会（东京都）

	
11月3日 紀三井寺日中友好記念碑見学 (和歌山県)	11月3日 湯浅町重要伝統的建造物群保存 地区見学 (和歌山県)
11月3日 参观纪三井寺日中友好纪念碑 (和歌山县)	11月3日 参观汤浅町重要传统建造物群 保存地区(和歌山县)
	
11月3日 ホームステイ対面式 (和歌山県)	11月3日 ホームビジット対面式 (山梨県)
11月3日 与寄宿家庭见面仪式(和歌山县)	11月3日 与访问家庭见面仪式(山梨县)
	
11月3日 ホームビジット解散式 (山梨県)	11月3日 富士吉田市国際親善委員会主 催交流夕食会 (山梨県)
11月3日 与访问家庭告别仪式(山梨县)	11月3日 富士吉田市国际亲善委员会主办晚 餐会(山梨县)

	
11月4日 稲むらの火の館見学(和歌山県)	11月4日 和歌山県立日高高校訪問 訪日記念植樹(和歌山県)
11月4日 参观稻藁之火之馆(和歌山县)	11月4日 访问和歌山县立日高高中、访日纪念植树(和歌山县)
	
11月4日 和歌山県立日高高校訪問・交流(和歌山県)	11月4日 和歌山県立日高高校訪問・交流(和歌山県)
11月4日 访问和歌山县立日高高中并进行交流(和歌山县)	11月4日 访问和歌山县立日高高中并进行交流(和歌山县)
	
11月4日 北口本宮富士浅間神社見学(山梨県)	11月4日 ふじさんミュージアム見学(山梨県)
11月4日 参观北口本宮富士浅间神社(山梨县)	11月4日 参观富士山博物馆(山梨县)

	
11月4日 忍野八海見学（山梨県）	11月4日 山梨県立吉田高校訪問、訪日記念植樹（山梨県）
11月4日 参观忍野八海（山梨县）	11月4日 访问山梨县立吉田高中、并共同种下纪念树（山梨县）
	
11月4日 山梨県立吉田高校訪問・交流（山梨県）	11月4日 山梨県立吉田高校訪問・交流（山梨県）
11月4日 访问山梨县立吉田高中并进行交流（山梨县）	11月4日 访问山梨县立吉田高中并进行交流（山梨县）
	
11月5日 ホームステイ離村式（和歌山県）	11月5日 道成寺見学（和歌山県）
11月5日 离村仪式（与寄宿家庭告别）（和歌山县）	11月5日 参观道成寺（和歌山县）

	
11月5日 南方熊楠記念館見学(和歌山県)	11月5日 三段壁見学(和歌山県)
11月5日 参观南方熊楠纪念馆(和歌山县)	11月5日 参观三段壁(和歌山县)
	
11月5日 富士五合目見学(山梨県)	11月5日 山梨県立リニア見学センター見学(山梨県)
11月5日 参观富士山五合目(山梨县)	11月5日 参观山梨县磁悬浮列车中心(山梨县)
	
11月5日 (株)桔梗屋工場見学(山梨県)	11月6日 皇居・二重橋見学(東京都)
11月5日 参观桔梗屋工厂(山梨县)	11月6日 参观皇居・二重桥(东京都)

	
11月6日 国会議員への報告会（東京都）	11月6日 安倍総理表敬訪問（東京都）
11月6日 国会议员报告会（東京都）	11月6日 拜访安倍总理（東京都）
	
11月6日 安倍総理表敬訪問（東京都）	11月6日 歓送報告会、陳昌偉団長挨拶（東京都）
11月6日 拜访安倍总理（東京都）	11月6日 欢送报告会，陈大为团长致辞（東京都）

4 参加者の感想（抜粋）

○ まず日本科学未来館を見学した時、大勢の子ども達を見かけたが、これには驚いた。なぜなら、科学未来館の展示の多くがスペースシャトル、生命科学、環境保護などを紹介するもので、どちらかと言えば青少年向きだと思っていた。しかし、展示は人に優しい設計で、子どもにも分かりやすく、日本人が向学心溢れる民族だということが分かった。

二階先生の故郷、和歌山県に到着した当日、紀三井寺を見学したが、一番印象に残ったのは立派な仏像でもなければ、由緒ある古寺でもなく、別のもっと記念すべき景観一日中友好記念碑で、その衝撃は一番大きかった。廖承志先生の書かれた「中日友好、千年万年」という字は、その奥に秘められた両国の友情の力を感じさせ、この記念碑が山上の古寺に立てられたことに、私はとても感動した。

また、和歌山県立日高高校を訪問し座談会に参加した際、日本の学生の素晴らしい素質と流暢な英語の表現力、及び津波に対する分析に感服し、これからもっと英語を勉強しなくてはと感じた。

2泊3日のホームステイの旅にはもっと感激した。ホストファミリーの友好と優しさは遠

く離れた異国に来ている私にとって最高のもてなしだった。可愛い女の子 2 人のあどけない笑顔で悩みはどこかへ消え去り、とても特色のある伝統的な日本料理のおかげで和歌山県に家族ができたように感じた。

このすべてを私は胸に刻み、一生忘れない。

○ 一番印象に残ったこと：2 泊 3 日のホームステイ。初日の夜、初めは少しよそよそしく、どうしていいかわからなかったが、おじいさんとおばあさんが大変心優しく、友好的で、私達のためにおいしい鍋料理を用意してくれ、だんだん互いに打ち解けてきて、心を込めて用意したお土産を渡し、感謝の気持ちを伝えた。食事の前には「いただきます」と言う習慣があるが、これは中国にはない習慣だ。食事中は声を落とし、ご飯を一粒残らず食べ、食物を粗末にしない。また、鍋には特殊な調味料、生卵があった。私は日本の家庭の伝統的な食べ方を味わった。おじいさんは画家、相撲の親方、かつ園芸師でもあり、自分のアトリエを持っていて、その素朴な容貌からはそれほど多芸多才な人だと全く想像がつかなかった。そのおじいさんには本当に敬服した。

日本は非常に清潔な国で、東京の大通りでもごみはかけらも見当たらず、ごみ箱も非常に凝っていて、「資源ごみ」、「非資源ごみ」などと、分別し収集していた。車窓から外を眺めると、街灯や指示灯は太陽光発電によるものだと気付いた。こうすれば多量の電力を節約できる。これらは私の住む都市や国も見習うべきだ。

帰国後、周りの先生やクラスメートに日本の伝統的礼儀作法や文化、特に日本人の時間と秩序の遵守という習慣について強調したい。

お互いに学び合い、共に高め合えば、日中関係はますます良くなるはずだ。

○ 一番印象に残ったことは、ホームステイと日本の高校生との交流だ。

ホームステイ先で過ごした 2 晩で、日本人の家庭生活を深く体験することができた。ご主人はまず僕達に茶道、続いて着物の着付けを体験させてくれた。それからお風呂を勧めてくれた。また、交流する中で趣味、居住地、学校、家族構成などを聞かれた。おもてなしは至れり尽くせりで、食事は口に合うか、居心地はどうかなど尋ねてくれた。彼らは心優しく、善良で、もてなし好きだった。僕は本当に彼らが好きだ。

日本の高校生との交流では、勉強や将来、関心のあることや趣味、家庭について語り合った。そして、住所とメールアドレスを交換し、たくさんの友人ができた。彼らとは共通の話題がたくさんあった。これからも連絡を取り合い、生涯の友になりたい。最後に、僕達はプレゼントを交換した。本当に楽しかった。

帰国後、家族や友人に日本の科学技術、先端技術、歴史、文化、経済について、特に日本人の善良さ、誠実さ、親切でもてなし好き、素質の高さについて伝えたい。今回の活動では多くの学びがあった。家族や友人に、この数日間楽しかった、日本人と楽しく交流し仲良くなった、日本や日本人がとても好きになったと話すつもりだ。機会があれば、家族や友人を連れて再び来日し、日本についてより多くのことを紹介し、より多くの親友を作りたい。

○ 日本の高校生は学校でもう大人のように、中国の同年齢の学生より成熟し、組織力も高く、社会での体験と実践も多い。日本の高校生との交流では、勉強以外のことについて話し

た。社会での実践は、文化の創造の源泉であり動力だ。この社会での実践体験は将来の勉強や生活に大いに役立つだろう。日本の保護者の子どもに対する教育も実用的で、子どもは母親の肩を叩き、母親の言うことをよく聞く。子どもは母親の言うことを聞き、道理をわきまえるべきだと思った。

○ 和歌山県立日高高校と友好的で親しみのある交流活動を行い、友情の証となる木を共に植えた。木は緑、生命力、活動の象徴で、この友情の木の植樹は、私達の末長い友情の象徴でもあり、善良で誠実な心で水をやれば、天まで届く大木になるだろう。その後のアジア・オセアニアフォーラムの講演では津波に関する良い意見交換ができ、そこで我が校の代表も大変素晴らしい発言をした。最後に日高高校の学生と交流し、可愛い女子高生と知り合い、仲良くなった。

○ 今回の訪問で一番印象に残ったことは、ホストファミリーの細やかなもてなしで、異国にいても孤独やよそよそしさを感じることはなかった。ホームステイ先のお父さん、お母さんと可愛い女の子2人の素朴さ、善良さ、優しさは寒い日の半纏のように私の心を温めてくれた。コミュニケーションには多少困難があったが、互いに伝え合った友好と善意が部屋の中を和やかにしてくれた。

日本の美しさ、日本人の情熱により、私は日本という国がますます好きになったが、両国の友情が末永く続くには、両国の若者の弛まぬ努力が必要だ。帰国後、私は両国の高校生交流の懸け橋になり、双方の心からの友好を、両国一人一人が意識するようにしたい。日本人の生活の現状、日本の文化的基盤をありのままに家族や友人に伝えることで、日本という国をより深く理解してほしいと思う。

中日の友情は必ず続くはずだ。

○ 一番印象に残ったことは、何とんでもホームビジットだ。このホームビジットがあつてこそ、今回の訪日は生涯忘れられない意味のあるものになったと思う。僕達は富士山の麓の山梨県富士吉田市に滞在し、ホストファミリーの一家は温かくもてなしてくれ、一路富士山の麓の風光明媚な場所へ案内してくれた。桃源郷のような美しい山の景色に深く感動し、大自然に包まれ、これまで体験したことのない落ち着いた気持ちになった。お宅に入ると、温もりのあるログハウスの中は、中国に立ち並ぶ鉄筋コンクリートの3LDKの部屋には及ばないが、洗練され、工夫され、温もりがあり、家らしく、真に生活を楽しむとはどういうことかが分かった。一家は優しくもてなし好きで、よそよそしさはあっという間に消え、打ち解けて一緒におしゃべりや食事をしたり、食後は一緒にピアノを弾いたり歌を歌ったりし、本当に感動した。

日本人は素朴で、親切で、平和を愛し、そして日本人に敬服するのは生活に対する細やかなこだわりだ。中国では競争が激しく、誰もが危機感を抱き、常に大きなストレスに晒される社会環境の中、心が浮わついて落ち着かず、麻痺して茫然とし、生活の落ち着きと洗練の追求を知らず、ほとんどの人があまり幸せだと感じていない。中日両国の人々の心理状態の差はここにあるのかもしれない。

○ 今回の訪問では中国と違うものをたくさん見た。例えば、どこにでもある自動販売機、左側通行の車両、こだわりのある温泉の入り方等だ。一番印象に残ったことは、もちろんホームビジットと山梨県立吉田高校で過ごした時間だ。ホストファミリーはわざわざ着物の着付けを体験させてくれ、私達は日本の伝統的な服を着て神社に出かけた。こんな体験ができて、本当に幸せだ。吉田高校では、中日双方の学校が共に桜の木を植えたが、この桜の苗が大木となり、友好の証となるだろう。また、日本の学生と一緒に英語の授業を受け、部活動にも参加した。授業では、中日双方の高校の共通点と相違点が発見でき、部活動はもっと新鮮な体験だった。参加したのは弓道部だが、私の高校にはない部活で、日本の伝統的な種目でもあった。弓道の演武もまた、忘れられない。

中国に帰ったら、周りの人に日本の大通りの様子、高校生の様子、おいしい食事や景色について話すつもりだ。私が伝える日本は、私自身が見て感じた日本であることに間違いない。

○ まず、中国高校生友好交流大使 500 人訪日団の一員になれたことを大変光栄に思う。日本で交流・訪問した数日間、日本の人々の情熱や誠実さを深く感じ、日本の人々と交流する中で、言葉に現れない真心を感じた。大使館表敬訪問では、今回の交流に対する責任を感じた。

訪日中の数日間、日本の特色ある観光地の見学を通じて、あらゆる角度から日本を知ることができた。それまでの日本に対する印象が全く変わり、よりオープンで、文明的で、友好的な日本を知ることができた。一番印象に残ったことは総理官邸で学生 100 名の代表として感想を述べたことだが、これはまたとないチャンスで、このようなチャンスに恵まれ本当に光栄に思う。安倍晋三総理の前で感想を述べた時、緊張のあまり汗だくになり、とちってしまったが、安倍総理が会心の笑みを向けて下さったおかげで随分リラックスできた。僕にとってこれほど重要な場面、しかもこれほどの要人の前で話をするのは初めてのことで、その意義もまた大きい。今回の経験は生涯忘れないだろう。

帰国後、積極的に両親や友達、先生、クラスメイトに今回の訪日体験について語り、より多くの中国人に日本という国や民族をより良く理解してもらおうつもりだ。

最後に、今後も自己研鑽に努め、国際友好交流に係わる仕事に就き、中日関係の今後の発展のためにより重要な貢献をしたい。

○ 1. 大通りが予想外の清潔さで、大都会には大勢人がいるのに、環境が大変良く保たれ、道路は狭いのに渋滞していない。

2. 人々は知り合いか否かに係らず、顔を合わせると常に会釈やお辞儀をして挨拶し、とても親しみやすい。出発前には必ず手を振って見送ってくれる人がいて、観光用のロープウェイがすれ違う時も、乗客は互いに手を振っていた。

3. どんな職業の人でも強い責任感を持ち、真剣かつ細やかに、仕事に真摯に取り組んでいるところに感動した。人々は仕事以外にも趣味を持ち、生活が豊かだ。

4. 授業は活発な雰囲気、得意かどうかに関わらず、自信をもって自己表現している。部活動の種類も豊富で、みんな伝統文化を愛し、部活動からも昔からの礼儀作法を重んじていることが分かる。

5. 通りでは和服を着た人と洋服を着た人がすれ違っている。寛容な都市だ。

○ 一番印象に残ったことは、ホームビジットと富士山見学だ。まず、ホストファミリーは最高の情熱でもてなしてくれ、日本の人々の友好、日本の文化的基盤と民間の純粋な風習を深く体験させてくれ、大いに収穫があった。

また、富士吉田で過ごした数日間、富士山がずっと付き添ってくれ、その素晴らしい景色から離れるのが名残惜しかった。心身ともにリラックスし、楽しませてくれた富士山に感謝！

帰国後は、周りの人に本当の伝統の息吹溢れる日本の民間文化を積極的に伝え、日本人の中国に対する見方と友好、日本の先進的な文化と科学技術、日本人の豊富で独特な風習や社会の礼儀作法などを広く伝えたい。日本人は中日双方がもっと交流し、民間関係が深まるよう望んでいて、中国人に対して大変友好的だと伝えると共に、両国の高校生の勉強や生活上の相違点についても伝え、積極的に学ぶつもりだ。

日本社会の気風は大変良く、人々の一般的教養が非常に高い。日本の景色と環境は大変美しく、空が真っ青で、環境保護も素晴らしい！要するに、日本は僕達が学ぶに値する国だ。

○「秋風や 酒肆に詩うたふ 漁者樵者」(与謝蕪村)

富士山では山間の湖と河を望み、時折温和な旅人とすれ違って挨拶を交わし、心が満たされた。7 日間の旅は生涯の思い出だ。忘れない、吉田高校で同年齢の学生と交流した楽しい一時を。忘れない、日本の「両親」の満面の微笑みを。忘れない、東京タワーから見た東京の街のスケールを。時には街を歩いていて、振り返ると一幅の絵が見えた。燃えるような彩の紅葉が音もなく心の扉を開いた。

ああ、離れ難い！だが、明日は日本を立ち、優しい故郷へ帰るのだ。友人に取り囲まれたら、この素晴らしい旅について描写してあげよう。愛らしく、自然な日本人の友情や情熱について語ろう。日本の茶道、琴、着物に秘められた味わい深い文化の息吹について語ろう。道中、一歩踏み出すごとに感動と興奮を覚えたと言おう。

そうだ、メールや SNS で日本の友人と連絡を取り合える。陽光が燦々と降り注ぐ海口にいても、僕は富士山で見た山頂にきらめく雪を思い出すだろう。

この美しい夕焼けの中、ただ黙考する。ここで過ごした時間は無駄ではなかった、と。